

## 新着情報 **77** イル

### ◇PGSホームなど、次世代太陽電池実用化へ

PVシステム販売・施工会社のPGSホーム（大阪市）は4日、奈良先端科学技術大学院大学と共同で研究してきた色素増感太陽電池に使用される高耐久性電解質の開発に成功したと発表した。微弱な光でも効率よく発電できる色素増感太陽電池は次世代太陽電池として有力視されている。このほど開発した技術が実用化されれば低コストで耐用年数の長い太陽電池となり、発電コストが大幅に削減できると期待される。研究成果はドイツ科学誌「ソーラー・エネルギー」電子版に掲載された。

色素増感太陽電池は、従来の製造方法では電子を受け渡す役割を担う電解質の耐久性が低いため、またたく間に劣化するという弱点があった。PGSホームは3年後の実用化に向けて量産技術の開発に取り組む。